

- (1) オール福岡県本部  
春を呼ぶ総行動
- (2) 復興のシンボル
- (3) 生活困窮者  
失業者就労訓練  
伊丹支部見学
- (4) よみがえれ  
大牟田地区労連

# SOLIDARITE 「連帯」 ソリダリテ

建交労大牟田支部通信 (No. 57)



## 春を呼ぶ闘いのトラックパレード

3月7日、福岡県本部は、福岡トラック協議会の呼びかけに呼応し、業種を超えたオール福岡県本部としてのトラックパレードを開催した。九州の玄関口である福岡県糟屋郡の多の津ターミナルにほぼ全県から結集し春闘と共に被災復興をみんなが誓い合い、糟屋郡から福岡空港を

## オール福岡県本部

ぐるり  
と一回り  
りし、



道行くドライバーや民衆らに「コロナ禍だからこそ賃上げで景気回復を！」とうったえました。オール福岡県本部と銘打つだけあって、かつて地元福岡で学童保育指導員をしていた中央本部・山内書記の熱のこもった音声データで大音量アピールとなった。大牟田支部としても福岡県最南端からちっちゃくかわいいうんぱんカーでエールを送りました。



## じかたび

私たち建交労の前身である全日自労の楽曲は、厳しい労働環境の詞が多いように感じますが、何故かメロディは明るく力強い。この底知れぬ失対の強さはどこから・・・

### 「世直し音頭」

1. 年はとつてもこの心意気 苦勞の数じゃひけとらぬ ※みんなでつくりよう 平和のくらしを 失業と貧乏と戦争をなくそう
2. たとえ体は不自由でも 生きる権利は曲げられぬ ※みんなでつくりよう 平和のくらしを 失業と貧乏と戦争をなくそう
3. 仲間同士だ腕くみ合って 助け合える全日自労 ※みんなでつくりよう 平和のくらしを 失業と貧乏と戦争をなくそう

# 熊本大震災から早5年

## これぞ復興のシンボル

関連死を含め276人が犠牲となった熊本大地震から、5年目となるのを前に地震で崩落した熊本県南阿蘇村の阿蘇大橋の下流に新たな橋が完成しました。

完成までに10年はかかると言われていたのですが、全国から専門の職人たちが結集し24時間体制でわずか5年で完成にこぎつけた。

この橋の特徴は数多くあるのですが、何といっても地震の耐震性。この橋を支えている支柱は、世界でも数か所しかない特別な作りになっていると。



崩落した阿蘇大橋の残骸

完成した橋は全長525メートルあり、熊本大地震を教訓に大きな揺れの際、橋桁の落下などを防ぐため、橋の一部があえて壊れる損



傷制御と言う工夫が取り入れられています。5年前の地震で自宅が全壊する被害にあったという、近くに住む女子高生は「橋が落ちた時はショックで、5年間工事を見守ってきました。開通によって、隣の大江町にもずっと楽に行けるので本当にうれしい」と嬉しそうに話していた。また熊本



市内から20キロ近く歩いてきた50代の男性は「誰よりも早く橋を歩いてみたい」と思い熊本市内から歩いてやってきたと言った人もいた。もちろん地震で甚大な被害を受けた南阿蘇の住民たちもそれぞれ応援幕をもって、走っていく車に手を振っていた。最寄りの園児たちも可

愛い手作りの小旗を、渡っていく車に力強く振っていました。これで被災した県内の国道、県道全て復旧した。日本全国の方々や海外からの支援やあらゆる企業や個人の応援基金により復興はまだ半ばですが着実に進んでいます。熊本県民として心よりお礼が言いたい。(猿渡)

# 企業組合伊丹市雇用福祉事業団・現地見学会

## 百聞は一見にしかず・伊丹見聞録

3月18日に、民間分会の高橋さん、吉田さん、津波古で、建交労の事業団部会で最も先進的で多くの生活困窮者・失業者の援助者になっていく兵庫県の伊丹支部（企業組合伊丹市雇用福祉事業団）にお邪魔して、かつて全日労大牟田分会も活躍していた失対事業について見せて頂きました。

この伊丹の事業団は、昨今の新型コロナ禍での失業者を救済し、再び労働力として活躍させる機会を与えているとし

て、国会でも大きな影響をもたらしています。

伊丹支部の任意就労センターは細々と存続はしていたものの、先細りは見えていたとの事です。

今、伊丹事業団の高木理事長は、コロナ禍以前からのワーキングプアなどの生活困窮者に早くから気づいておられ、これまでの任意就労支援に違和感を覚えたとの事。そして、「企業組合」という法人格で就労支援センターを立ち上げられ、その実績が伊丹市に留まらず全国に波及している。



全日労建設一般労働組合  
伊丹支部総合事務所



随意契約している公園整備事業は、  
仕事の宝庫

昨年春から中央本部の角田執行委員長からオファーが大牟田支部にあつていました。自治体の様々な業務に対し、積極的にアプローチされ、時には市議会議員のつてを借りるなど果敢に仕事を獲得し、生活困窮者だけではなく、現代のいわゆる「引



水道局敷地内での樹木伐採



樹木の幹はオイル式チェーンソー

きこもり」やつての受刑者」らへも手を差し伸べ、立派に労働者への再起を図っておられました。

伊丹市は庭師の盛んな街だったとの事ですが、近年、新たな担い手不足で自治体や企業が所有する土地の木々の選定作業や河川の土手にコスモスを植え、美観とそれを汚させない市民の意識向上も狙い、担い手不足を逆手に事業進出を図られています。

この伊丹市独特の事情を大牟田市に置き換え、私たちがどうできるのか？

よくよく検討し、就労支援の事業に乗り出さなければならぬと痛感しました。

業種等に縛られない広範な市民に対応できる建交労の強みをもっともって活かして行かねばならないと感じました。

**働くことの喜びを再び！**

(津波古)



学校に通う子どもさんのお母さんらが、子どもたちが学校にいる間を活用した就労体系

